

令和4年度

事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)



学校法人玉田学園

学校法人玉田学園 令和4年度 事業報告

1 法人の概要

(1) 基本情報

①法人の名称：玉田学園

②主たる事業所の住所・電話番号・FAX番号、ホームページアドレス等

<住所>神戸市長田区池田上町92 <TEL>078-691-0561 <FAX>078-691-4562

<URL><http://www.kobe-tokiwa.ac.jp>

(2) 建学の精神

「女子ニ必須ナル智識技能ヲ授ケ、質実健全ナル母妻ヲ養成スルヲ目的トスル」

(3) 学校法人の沿革

年	事 項
1908	校祖玉田貞也 私立家政女学校創設
1915	私立神戸高等家政女学校と改称
1921	神戸家政女学校と改称
1932	専攻科・裁縫専修科設置
1944	玉田学園設立 神戸女子商業学校と改称
1946	神戸高等女学校と改称
1948	神戸常盤女子高等学校・神戸常盤中学校と改称
1967	神戸常盤短期大学 設置認可（幼児教育科・衛生技術科） 教員養成・保母資格取得課程 認定される（幼児教育科） 衛生検査技師養成学校として指定される（衛生技術科） 神戸常盤短期大学 開学
1970	神戸常盤短期大学附属幼稚園 開園
1971	臨床検査技師国家試験受験資格指定校となる
1974	臨床検査技師養成校として指定され、臨床検査技師国家試験受験資格指定校となる（衛生技術科3年制）
1983	神戸常盤短期大学衛生技術科専攻科 開設
1984	神戸常盤短期大学幼児教育科専攻科 開設
1988	神戸常盤短期大学教養科 設置認可
1989	神戸常盤短期大学教養科 開設
2000	神戸常盤短期大学看護学科 設置認可
2001	神戸常盤短期大学看護学科 開設
2002	エクステンションセンター 開設 神戸常盤短期大学健康文化学科 設置認可
2003	神戸常盤短期大学健康文化学科 開設
2003	教育課程改訂看護医療特進コース設置
2004	神戸常盤短期大学看護学科通信制課程 設置認可
2005	神戸常盤短期大学看護学科通信制課程 開設
2008	神戸常盤大学 開設 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科 開設 学校法人玉田学園創立百周年
2009	ライフサイエンス研究センター、ボランティアセンター、健康保健センター、KTU 大学教育開発センター 開設
2010	子育て支援センター「子育てひろば えん」 開設
2011	普通科特進コース改組(幼教特進、四大特進、看護医療特進)
2012	神戸常盤大学教育学部こども教育学科 開設
2013	地域交流センター、国際交流センター、教職支援センター 開設
2014	教育イノベーション機構 開設
2016	新2号館 竣工

2018	学校法人玉田学園創立百十周年 子育て総合支援施設「KIT」、子育て広場「ときわんモトロク」オープン
2019	診療放射線技師学校指定校となる
2020	保健科学部診療放射線学科 開設 新8号館 竣工
2021	子育て広場「ときわんノエスタ」オープン、すこラボ 開設 神戸常盤大学医科学研究所 神戸常盤大学PCR検査センター 開設
2022	保健科学部口腔保健学科 開設

(4) 設置する学校・学部・学科等

学校名	学部名等	学科・コース名等	
神戸常盤大学	保健科学部	医療検査学科	—
		診療放射線学科	—
		口腔保健学科	—
		看護学科	—
	教育学部	こども教育学科	—
神戸常盤大学短期大学部	—	口腔保健学科	—
		看護学科通信制課程	—
神戸常盤女子高等学校	普通科	総合コース	進学コース キャリアコース
		大学特進看護医療コース	—
		大学特進こども教育コース	—
		大学特進文系コース	—
	家庭科	調理・製菓コース	—
		服飾コース	—
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	—	—	—

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(令和4年5月1日現在)

学校名		入学定員	入学者数	収容定員	現員数	
神戸常盤大学	保健科学部	医療検査学科	80	97	320	348
		診療放射線学科	75	88	225	251
		口腔保健学科	70	67	70	67
		看護学科	75	94	315	349
	教育学部	こども教育学科	80	89	320	355
神戸常盤大学短期大学部	—	口腔保健学科	70	—	140	157
		看護学科通信制課程	150	148	300	299
神戸常盤女子高等学校	—	—	310	236	930	739
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	—	—	15	7	60	30

※高等学校、幼稚園の入学定員は募集定員を計上。収容定員も募集定員の合計を計上。

(6) 収容定員充足率

(令和4年5月1日現在)

学校名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
神戸常盤大学	1.10	1.08	1.10	1.11	1.10
神戸常盤大学短期大学部本科	1.00	1.10	1.07	1.13	1.12
神戸常盤大学短期大学部通信制	0.96	1.26	1.06	0.94	1.00
神戸常盤女子高等学校	0.98	0.93	0.88	0.82	0.79
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	0.77	0.63	0.65	0.62	0.50

(7) 役員概要

(令和4年5月1日現在)

役名	氏名	就任年月日	常勤・非常勤	備考
理事長	旭 次郎	昭和59年4月1日	常勤	
常務理事	中村 忠司	平成30年4月1日	〃	法人本部長
〃	旭 潤一郎	平成2年4月1日	〃	統括管理部長
理事	濱田 道夫	平成29年4月1日	〃	大学・短大学長
〃	友井 基浩	令和4年4月1日	〃	高校長
〃	摺河 祐彦	平成8年3月29日	非常勤	
〃	後藤 武	平成15年5月29日	〃	
〃	木村 光男	令和4年4月1日	〃	
〃	宮田 英和	令和4年4月1日	〃	
監事	尤 昭福	平成19年5月18日	〃	
〃	八代 智	平成31年4月1日	〃	

・役員賠償責任保険契約の状況

保険会社：〔幹事〕東京海上日動火災保険株式会社

契約者：日本私立大学協会（会員である学校法人を記名法人とする団体契約）

保険種類：役員賠償責任保険

被保険者：〔個人被保険者〕理事・監事、評議員

〔記名法人〕学校法人玉田学園

総支払限度額：5億円

(8) 評議員概要

(令和4年5月1日現在)

役名	氏名	就任年月日	備考
評議員	濱田 道夫	平成29年4月1日	大学・短大学長
〃	友井 基浩	令和4年4月1日	高校長
〃	中川 千鶴	平成17年4月1日	高校教頭
〃	中村 忠司	平成18年4月1日	法人本部長
〃	大森 雅人	令和3年4月1日	大学副学長
〃	長尾 厚子	平成20年4月1日	大学教授
〃	高木 真美	平成25年5月28日	幼稚園長
〃	旭 潤一郎	平成30年4月1日	統括管理部長
〃	松元 英理子	平成30年4月1日	大学教授
〃	笹川 久子	昭和48年4月14日	
〃	岡部 文雄	令和元年5月28日	大学同窓会長
〃	黒山 喜	令和元年5月28日	
〃	山崎 彩子	令和元年5月28日	大学後援会長
〃	赤星 麻未	令和元年5月28日	
〃	堀 祐彰	令和2年5月29日	
〃	旭 次郎	昭和59年4月1日	理事長
〃	興梠 輝政	平成20年5月28日	
〃	柴山 慶太	令和元年5月28日	
〃	野村 慶雄	令和元年5月29日	

(9) 教職員概要

(令和4年5月1日現在)

区分	教員		職員	
	本務	兼務	本務	兼務
神戸常盤大学	90	180	40	24

神戸常盤大学短期大学部	22	27	6	8
神戸常盤女子高等学校	53	14	10	—
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	5	3	—	1
合計	170	224	56	33

(10) その他

別紙詳細

2 事業の概要

別紙詳細

(1) 主な教育・研究の概要

<神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部>

・「卒業の認定に関する方針」

【神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部 全学ディプロマポリシー】

本学は、ときわ教育目標に向けて行われる正課の教育において、次の条件をすべて満たす者に対し、学位を授与する。

- ①学部・学科に所定の期間在籍すること
- ②「ときわコンピテンシー」に掲げるすべての能力が、知性と感性を備えた専門職業人に相応しいレベルに到達すること
- ③学部・学科が定める審査に合格し、卒業に必要な単位を取得すること

【保健科学部】

- 1) トータルヒューマンケアの視点を持った医療専門職の態度を身につける。
- 2) 臨床検査。診療放射線・看護のそれぞれの領域に関する専門的な知識・技術の基本を修得し、安全な医療を提供する基礎力を身につける。
- 3) チーム医療における専門職としての責務を自覚し連携力を身につける。
- 4) 地域・国際社会における保健医療福祉の向上に貢献できる自己研鑽力を身につける。

【保健科学部 医療検査学科】

- 1) 医療人にふさわしい倫理観、対人関係形成能力を身につける。
- 2) 医療検査に必要な基礎知識および基本的な専門知識を修得する。
- 3) 医療検査の実践に必要な基本的技術を習得する。
- 4) 医療の発展に寄与できる問題解決能力、自己研鑽力を身につける。

【保健科学部 診療放射線学科】

- 1) 高い倫理観と人の心に寄り添い行動できる豊かな人間性を身につける。
- 2) 診療放射線学に関する専門知識と技術を習得し、適切に実践できる能力を身につける。
- 3) チーム医療を円滑に遂行できるコミュニケーション能力を身につける。
- 4) 科学的思考力と創造的探究心を持ち、医療の発展に寄与できる研究的態度を身につける

【保健科学部 口腔保健学科】

- 1) 専門職業人としての高い倫理観をもって、行動する力を身につけている。
- 2) 科学的根拠に基づいて口腔保健の向上に貢献する力を身につけている。
- 3) 保健医療チームの中で口腔保健の専門職としての役割を果たす力を身につけている。
- 4) 口腔保健の立場から、地域あるいはグローバル社会に貢献する能力を備えている。
- 5) 社会の変化に対応して、歯科衛生士としてのキャリアを継続させる基本姿勢を身につけている。

【保健科学部 看護学科】

- 1) “いのち”に対する温かいまなざしと、高い倫理観を身につける。
- 2) 看護の対象の基本的な人権を擁護し、“苦痛や苦悩”を受け止め、共感的に理解するヒューマンケアの視点を身につける。
- 3) 科学的思考力を基盤に、健康レベルに応じた的確な判断力の基礎と、安全に看護実践を行う基本的技術を修得する。
- 4) 患者・家族や保健・医療・福祉チームと良好なコミュニケーションをとり、連携を深めるための基本的態度を身につける。
- 5) 医療に対する国際感覚を持ち、看護の本質を追究し、展望するための自己研鑽能力を身につける。

【教育学部 こども教育学科】

卒業に必要な所定の単位を修得し、以下の能力や資質を身につけた学生に「教育学士」を授与する。

- 1) こどもの保育・教育に携わる者に必要な豊かな人間性と高い倫理観
- 2) こどもの心身の発達を支えるための専門知識と技能
- 3) 理論と実践を統合し、社会の要請に応えることのできる教育力
- 4) 実践の場において自ら課題を見だし研究することにより、保育や教育の質を高める態度

【短期大学部 口腔保健学科】

- 1) 豊かな人間性と社会性を支える幅広い教養を身につけている。(知識・理解)
- 2) 問題解決のための科学的探究心を持ち、継続的に学習する(自己研鑽に努める)能力を身につけている。(関心・意欲)
- 3) 個々の人格を尊重した対人関係形成能力を身につけている。(態度)
- 4) チーム医療の一員として他職種と協働・連携して専門性を発揮できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を備えている。(技能・表現)
- 5) 基礎医学を基盤とした歯および顎・口腔疾患に関する専門的知識を習得している。(知識・理解)
- 6) 生活背景や全身との関係を考慮した口腔疾患に関する警戒を立案し、安全に実践できる基本的な技能を有している。(思考・判断・表現・技能)
- 7) 口腔機能管理の実践に関する基礎知識を習得している。(知識・理解)
- 8) 口腔保健の立場から地域あるいは国際社会に貢献する基本的能力を備えている。(関心・意欲)

【短期大学部 看護学科通信制課程】

- 1) 対象を全人的に捉え、専門職業人としての倫理観を持って行動する力
- 2) 科学的根拠に基づいて看護を実践し評価する力
- 3) 保健医療福祉チームの中で、看護専門職の役割と機能を果たす力
- 4) 看護を探求し、科学的思考を基盤に発展させる力

・「教育課程の編成及び実施に関する方針」

【神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部 全学カリキュラムポリシー (CP)】

本学は、ときわ教育目標に向けて、「基盤教育分野」「専門教育分野」を設置し、その教育課程を次の方針に沿って体系的に編成する。

- ① 「ときわコンピテンシー」に掲げる諸能力の修得を促すため、科目の内容等に即した最適の学修形態を整える
- ② 「基盤教育分野」に、「学びの始め科目群」「人間探究科目群」「創造実践科目群」を置く
- ③ 「専門教育分野」は、学部・学科が定めるカリキュラム・ポリシーに従って編成する
- ④ 学修の成果をアセスメント・ポリシーにより不断に検証し、教育課程の改善を図る

【保健科学部】

本学部の各学科における学位取得のための当該知識・能力を、医療専門職として身につけるための教育課程を、以下のような視点から編成する。

- 1) 全学カリキュラムポリシーにおける「基盤教育分野」「専門教育分野」の編成方針に基づき、学部においても「基盤教育分野」における「学び始め科目群・人間探究科目群・創造実践科目群」を配列した。
- 2) 「専門教育分野」においては、さらに「専門基礎分野⇒専門分野」の二分野を設け各学科の専門性の内容が効果的に深化するよう編成した。なお三学科ともに科目を、「基本⇒展開⇒総合・発展」を原則として配列している。
- 3) 学部教育の主たるねらいとなるチーム医療を実践できる医療専門職を目指して学部共通単位の科目群を編成している。さらに令和2年開設の診療放射線学科に開講している「IPW(多職種連携論)3年次」を中心に、今後科目の広がりや深まりを検討し、学部間の多職間教育の充実のための、教育課程の編成に取り組む。

- 4) 学部合同開講の「国際保健医療活動Ⅰ、国際保健医療活動Ⅱ」他、地域・国際社会における保健医療福祉に貢献する人材育成に関連する科目群を配列している。
- 5) 「臨床力（臨床（臨床）に身を置き、多様な現実を読み取り考え行動する力）」を重視し、1年次の早期実習（アーリーエクスプロージャープログラム）の取り入れや、3年次からの臨床実践における課題解決学修、将来の研究力発揮のための「卒業研究」を編成している。

【保健科学部 医療検査学科】

学科の教育目標に掲げる優れた医療人を養成するため、臨床検査技師養成の指定大学として、以下の方針に基づいたカリキュラムを編成した。

教育課程を「教養分野」「専門基礎分野」「専門分野」の3つに区分し、各分野の連携により体系的な学習が可能となるように配置した。

- 1) 「教養分野」には、現代を生きるための、また臨床検査技師として保健・医療・福祉に貢献するための基礎となる科目を置いた。これらの科目では、異文化・社会や多様な価値観を理解し尊重する態度、自己を確立し他者の立場に立って考える想像力や感性、幅広い視野と深い洞察力を持ち的確に判断する力や、新しい時代を拓く創造力を養うことを目的とする。また、専門基礎分野・専門分野を理解するための基盤となる、読み・書き・論理的思考力・表現力・コミュニケーション能力や、主体的に学ぶ姿勢を涵養するための科目を加えて編成した。
- 2) 「専門基礎分野」は、多様な専門科目を学修する上で必要とされる知識・技術に関する基礎的な科目を配置した。
- 3) 「専門分野」には、臨床検査の専門的な知識・技術を習得する科目、および医療の高度化に対応できる基礎力・応用力を身につける科目を配置し「形態検査学系」「生物化学分析検査学系」「病因・生体防御検査学系」「生理機能検査学系」および「総合・発展医療検査系」の5領域に区分した。各領域は講義と実習または演習で構成し、検査の知識と技術・実践を有機的につなげて理解できるようにした。さらに、「総合・発展医療検査系」では他の領域で得た知識を統合して発展させる科目、医療の場での実践的能力を養う科目や、研究的態度を養うための科目を配置し、保健医療に貢献し臨床検査の発展に寄与できる臨床検査技師の育成が可能となる編成とした。

【保健科学部 診療放射線学科】

本学が掲げる、『豊かな人間性、高い倫理観をもつ、また、地域社会、国際社会において保健医療の向上に貢献できる基礎能力をもつ専門職業人の育成』を基本に、本学科の教育目標に掲げた『いのちに対する温かい眼差しと高い倫理観を備え、人の心に寄り添える豊かな人間性の育成』と『医療を支える確固たる専門的な知識と技術を習得し、社会に貢献できる専門職業人を育成』を実現させるために、以下の方針に基づいたカリキュラムを編成した。教育課程を「基盤教育分野」「専門基礎分野」「専門分野」の3つに区分し、講義、演習、及び実習を適切に組み合わせ、各分野の連携により体系的な学習が可能となるよう編成した。

- 1) 「基盤教育分野」では、グローバル化、情報化、少子高齢化など、急速な社会変化によって生じる現代社会の諸課題に対して、多様な価値観、幅広い視野を持ち、創造的に対応できる論理的思考力や問題解決力、コミュニケーションスキルなど、現代を生きるために必要な「人間のちから」を習得するための基礎となる科目を配置した。また、診療放射線技師として、医療にそして社会に貢献するために必要な優しさと奉仕の心、本質を見抜く深い洞察力、他者の立場に立って考えることができる想像力や感性など「豊かな人間性」を育むための基礎となる科目を配置した。
- 2) 「専門基礎分野」では、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」（基礎医学系）と「保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線科学及び技術」（基礎理工学・基礎科学系）の2つの領域に分類し、診療放射線技師として必要な知識及び技術を習得するだけでなく、医療技術の進歩に対応し得るための基礎知識や科学的思考力を身に付けるための科目を配置した。特に、1年次における早期臨床体験の導入により医療や診療放射線技術への興味・関心を広げ、将来への展望を拓くことを意図した。
- 3) 「専門分野」では、診療放射線技術に関する専門的な知識・技術を習得するために必要な科目、及び多様で高度化する医療に対応し得る応用力を身に付け、将来的には真のエキスパートになるために必要な科目を配置した。講義及び実習を有機的に組み合わせ、患者に診療放射線技術を適切に施すための知識と技術の習得が可能となるよう配慮している。また、「総合・発展技術」では、医療チームの一員として質の高い安全な医療を提供し貢献するために必要不可欠である幅広いコミュニケーションスキル、他の医療従事者と連携・協働できる能力、患者の不安を受け止め、寄り添うことのできる心を育むための科目のみならず、幅広い多角的な視野を持ち、主体的・独創的に課題に取り組み、解決へ導く研究的態度を養うための科目を配置した。

【保健科学部 口腔保健学科】

口腔保健学科では、本学ならびに口腔保健学科の教育理念、目的に則り、歯科医療における全人的医療の立場から、すべてのライフステージに対応できる優れた歯科衛生士としての素養を涵養するために、歯科衛生士の3大業務（歯科予防処置・歯科診療補助・歯科保健指導）に関する知識と実践の修得に加え、歯科衛生士自身のライフステージに応じて活躍できるように以下の方針に基づ

いてカリキュラムを編成した。また、教育課程を「基盤教育分野」「専門基礎分野」「専門分野」の3つに区分した。科目についても本学の学位授与方針に基づいた学科の学位授与方針に掲げる目標を達成するために必要とする科目を、講義、演習、実習を内容に応じて適切に組み合わせ、各分野の連携により、体系的な学習が実現できるよう編成した。なお、口腔保健学科の教育課程は『歯科衛生士学校養成所指定規則』定める教育内容にも準拠している。

- 1) 「基盤教育分野」では、多様化する現代社会の諸問題に対して、幅広い知識と多様な価値観を理解し、論理的かつ創造的な思考力や問題解決力、コミュニケーション力を習得するための基盤となる科目を配置した。また、歯科衛生士として、全人的医療に携わるべく「他者の立場で物事を考えることのできる豊かな人間性」と「社会への貢献に重きを置いた高い倫理観」を涵養するための基礎となる科目を配置した。
- 2) 「専門基礎分野」では歯科臨床ならびに歯科衛生士分野を専門分野と位置付け、専門領域を支える科目で編成した。「臨床歯科医学の基礎」と「パブリックオーラルヘルス」の2領域に分類し、歯科衛生士として必要な知識を習得するだけでなく、国際的な全人的医療に対する歯科医療の進歩に対応し得るための基礎知識や科学的根拠に基づいた論理的思考を身につけるための科目に配置した。
- 3) 「専門分野」では、歯科診療や口腔疾患予防に関する専門的な知識・技術を習得するために必要な科目および多様で高度化する医療への対応ならびに歯科衛生士としてのキャリアを活用できるための応用力を身につけることができる科目を配置した。具体的には、「歯科衛生士論」では各専門領域に共通の基礎的理論や歯科衛生過程を学習する。この歯科衛生過程を中核に据えて、専門化する歯科医療ならびに口腔疾患予防に対応する知識・技術を、講義および演習を有機的に組み合わせ配置し、習得できるようにした。また、「すべてのライフステージに対応できる歯科衛生士」を目指し、小児からエイジングケアの特性に対応し、チーム医療における協働作業下でのコミュニケーション力の育成にも配慮した。さらに、自らのライフステージに応じて活用できる「ワークキャリアデザイン」を配置し、生涯学習の重要性、多角的な視野の醸成と主体的に社会問題に対応できる態度を養うことができるように配慮した。臨地実習では既修内容を効果的に積み上げていけるよう配置し、あらゆる歯科医療現場において判断能力、問題解決能力、実践力の育成を図る内容とした。加えて、日進月歩に進む最先端のテクノロジーから専門化する歯科医療に対応するべく、「基盤教育分野」「専門基礎分野」で得られた知識と技術を、より高みへと昇華し、また、災害医療や国際的な視点から口腔保健活動が実行できる専門職業人として、卒業後も自己研鑽力を兼ね備えた学び続ける姿勢を養うために、4年間の学修の効果的な統合として口腔保健特論や卒業研究等の科目を配置した。総じて、質の高い保健医療の一端を担う、歯科口腔保健領域の確固たる知識と技術、豊かな人間性、そして地域保健医療の発展に貢献できる、総合的な能力を備えた歯科衛生士を養成することが可能となる科目編成とした。

【保健科学部 看護学科】

“いのち”に対する豊かな感性と知性、及び幅広い人間性を備えた資質の高い看護専門職業人を育成するために、以下の方針に基づいたカリキュラムを編成した。

- 1) 「基礎分野、専門基礎分野、専門分野」科目の教育内容が有機的に、学修できるよう考慮し科目群を編成した。特に教養分野では、自らの「立ち位置」を確認し、看護専門職としての今後の展望に繋がる柔軟な視点を養うことを意図し、「リテラシー、人間といのち、人間と環境」に区分した科目群を設置している。また専門基礎分野では、看護学の専門性を支援する科目として、既に体系づけられている近接学問領域の知識や理論を「人間科学系、保健科学系、社会科学系」に区分して、科目群を編成した。
- 2) 施設内から在宅・地域への“継続的な看護”、及び看護の対象のQOL(生活の質)を高める“総合的な看護”を目指して、その実践力を的確に養うために、看護学を「基礎看護学、健康支援看護学、療養支援看護学、母子支援看護学」の4領域に整理区分した。さらにそれぞれの学修内容を、臨地実習において深化し統合できる様、3年次後期を中心に各臨地実習科目を編成した。
- 3) 看護学の科目群の設置・編成においては、“実践の科学”である看護学の特性を生かし、「看護学の基本⇒看護学の展開⇒看護学の臨床⇒看護学の発展と探求」と、系統的な区分編成をし、過程性、系統性を考慮した。この編成においては、「臨床力(臨地に身を置き、多様な現実を読み取り、考え行動する力)」を高めることを重視し、「看護学の臨床」の内容充実を力を入れている。特に、1年次初期の早期学修(アーリーエクスポージャープログラム)の導入により看護への興味・関心を広げ、4年次の課題別総合実習において、将来への展望を拓くことを意図した。加えて臨地実習施設との人事交流等を考慮した編成を行っている。
- 4) 学生の資質を調和よく発展させ、かつ身につけた知識や技術を統合し、創造的に課題解決していく姿勢を整うために、4年間の学修の効果的な統合として卒業年次の研究等の科目を編成している。加えて4年間の科目群編成において、教員と学生の対話や、ディスカッションを深める等の双方向の教育の実践、さらにはチューターによる4年間を縦断した個別的支援等、効果的な教授・学習過程であることを念頭に、科目間の関連を考慮して編成した。

【教育学部 こども教育学科】

- 1) 「豊かな人間性と高い倫理観」を育むために「教養分野」を充実させる。
- 2) 「専門知識と技能を深く修得する」ための導入として、また「理論と実践を統合」することを促すための導入としての「専門基礎分野」をおく。
- 3) 「専門知識と技能を深く修得」し、「理論と実践を統合し、社会の要請に応えることのできる教育力を身につける」ために、「専門分野」を充実させる。
- 4) 「専門知識と技能を深く修得」することを一層深め、また「実践の場において自ら課題を見いだし研究することにより、保育や教育の質を高める態度を育む」ために「専門発展分野」を設け、充実した科目配置とする。

【短期大学部 口腔保健学科】

歯科衛生士の3大業務(歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導)に関する知識と実践の修得に加え、以下のカリキュラムをとおして、より資質の高い学生を教育する。

- 1) 歯科衛生過程・・・自ら考え実践できる歯科衛生士の養成
科学的根拠に基づき歯科衛生士自らが、歯科衛生アセスメント、歯科衛生診断、治療計画・立案、歯科衛生介入、歯科衛生評価ができ、多様化する対象者に対応できる能力を養わせる。
- 2) チーム医療の基礎と実践・・・チーム医療を担う人材の育成
多様化する医療分野(超高齢社会・疾病の構造変化など)において不可欠なチーム医療を担う職種として必要な基礎知識と実践力を修得させる。
- 3) 健康を守る社会システムの実践・・・医療人として社会に貢献できる人格と能力の形成
災害支援や地域活動および海外研修を通して、高い倫理観を備えた人格の形成と医療人として社会に貢献できる能力を備えた人材を養わせる。

【看護学科通信制課程】

教育理念に基づき高い資質を備えた専門職業人を育成するために「トータルヒューマンケア」「発達する人間」「ケアリング」「ホリスティックな健康」を柱とし、基礎分野・専門基礎分野・専門分野に区分設置し、有機的かつ系統的にカリキュラムを編成した。

- 1) 基礎分野は、人間を全人的にとらえ、かつ科学的な思考力を高め、共感的態度、倫理観、論理的思考を養うための教育内容とした。
- 2) 専門基礎分野は、看護学を専門分野として位置づけ、対象の生活過程を整える観点から、その専門領域を支える基礎となる教育内容とした。
- 3) 専門分野、統合分野の基礎看護学は、各看護学に共通の基礎的理論や基礎的技術を学ぶ内容とした。これを中核に各看護学分野では、対象の発達段階・健康段階・場の特性に応じて深化させる内容とした。また、各看護学分野は概論・援助論・演習・実習と既習内容を効果的に積み上げていけるよう配列した。さらに統合分野では、あらゆる発達段階・健康段階・場において判断能力、問題解決能力、実践力の育成を図る内容とした。
- 4) 臨地実習では、10年以上の勤務経験によって得られた“看護体験”を帰納的な思考プロセスをたどることにより、整理発展させることを目的に既修得学習から根拠に基づいた看護実践力を養うものとした。

・「入学者の受入に関する方針」

【神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部 全学アドミッションポリシー】

本学は、建学の精神の下、知的、道徳的に優れた医療・教育の専門職業人を育成している。

この目標をもつ本学は、「建学の精神」「ときわ教育目標」および学部・学科が定めるアドミッション・ポリシーを理解し、あらゆる人の「いのち」を医療や教育を通して支えていく意欲をもつ人を求める。

【保健科学部】

- 専門領域を学修するための基礎力と意欲をもっている人
- 人間に対する関心と愛情をもっている人
- 他者を理解し協働して行動できる人

【保健科学部 医療検査学科】

- 臨床検査あるいは保健医療の分野で社会に貢献したいと考えている人
- 人に対する興味をもち、思いやりをもって接することができる人
- 知的好奇心が旺盛で、物事を科学的な視点で捉えようとする人

- 保健医療の分野を学ぶために必要な基礎学力を備えた、学習意欲のある人
- 高等学校等の学習を通して数学、理科、英語について基本事項を正確に理解していること、および高校生活を通して日本語力とコミュニケーション能力を鍛えておくことが望まれます。

【保健科学部 診療放射線学科】

- 診療放射線学に関する知識と技術を学び、社会に貢献したい人
- 自ら学ぶ意欲と能力を有し、知識・技術を身につけるためにたゆまぬ努力ができる人
- 医療人を目指す者として高い協調性と、責任ある行動がとれる人
- いのちに向き合い、優しい心を持ち、人との関わりを大切にできる人
- 多様な価値観を理解し、グローバルな視野を持って挑戦する意欲のある人

高等学校等において、数学・理科・英語について基礎を理解し、それらの学習を通じて読解力・表現力・科学的思考力を身につけている人を求めます。また、優しさや協調性、コミュニケーション能力など人間関係を形成できる能力を有していることが望まれます。

【保健科学部 口腔保健学科】

- 口腔保健および社会（保健）福祉に強い関心があり、社会に貢献したい人
- 論理的思考ならびに問題解決のための素養を備え、新しい課題にチャレンジする意欲がある人
- 豊かな感性とコミュニケーション能力を有し、自ら多様な人と協調（協働）できる人
- 広い視野を持ち、地域住民の健康増進ならびに国際社会に貢献しようと強い意欲を有する人
- 口腔保健学を中心とした学士課程教育を受けるための幅広い教養・基礎学力を備えている人

【保健科学部 看護学科】

- 人と自然を愛し、“いのち”を尊重し、育むところをもっている人
- 相手の言葉や投げかけに関心を寄せ、誠実に対話し、対応することができる人
- 問題を発見し、解決する意欲を持ち、行動することができる人
- 広く世界に目を向け、異文化に関心を寄せる人

高等学校等において、国語、数学、英語および理科の基礎学力を身につけ、それらの学習を通して、読解力、表現力、論理的思考力、問題解決力、および感性等をバランスよく身につけている人を求めます。さらに全教科の学習や教科外活動を通して、他者への配慮や社会的現象に興味関心を寄せ、“いのち”に対する温かいまなざしと高い倫理観に繋がる姿勢をもつことが望まれます。

【教育学部 こども教育学科】

- 保育士・教員になることを目指している人
- 基礎学力のある人
- 課題を発見し、探究する意欲のある人
- 自分も他者もともに尊重し、協働して行動できる人

高等学校等においては、特定の教科に偏らず、すべての教科の基礎的な学習を通して、読解力、表現力、論理的思考力、問題解決力の基礎を修得していることを求めます。また保育士・教員は、人間性豊かであることが必要なため、課外活動にも力を注ぐ意欲を有していることが望まれます。

【短期大学部 口腔保健学科】

- 口腔保健に深い関心をもち、社会に貢献したい人
- 自律の精神をもち、自己啓発への意欲がある人
- 協調性とコミュニケーション能力に優れる人
- 広く世界に目を向け、異文化に興味がある人

高等学校等において、国語の学習を通して他者を理解しコミュニケーション能力の基礎となる読解力、理解力、表現力を身につけていること、さらに数学や英語などの教科・科目を広く学習することにより、基礎学力を身につけている人を求めます。また、学習面のみならず、課外活動等にも力を注ぐ意欲を有していることが望まれます。

【看護学科通信制課程】

- 豊かな人間性を持ち、人間やいのちに対して深い関心を寄せ、尊重できる人
- 准看護師としての基礎的知識を備えている人
- 物事に対して論理的に思考する人

- 自分なりの看護観を持って看護を探求する姿勢のある人

本課程では、教育理念に応じ入学者選抜試験を実施しており、明確な目的意識を持った人の入学を求めています。准看護師としての基礎知識を備え、社会情勢や看護の動向などに関心を持ち、意欲と主体性を持って勉学に臨むことのできる人を求めます。

<神戸常盤女子高等学校>

教育目標

本校では以下の四つの教育方針を堅持しつつ、基本的なものの考え方、寛容の精神、豊かな常識を弁えた社会人を育成することを目標としています。

1. 一人ひとりの個性に応じた教育
2. 知性ある女性を育てる教育
3. 家庭・社会の一員として生きる技術の習得を目指す教育
4. あたたかい家庭的な教育

<神戸常盤大学附属ときわ幼稚園>

教育目標

心身ともに健やかな子ども

- ・伸び伸びと体を動かして遊ぶ。
- ・友達と一緒に考えたり工夫したりして遊ぶ。

素直で心豊かな子ども

- ・自分の思いや考えを素直に表現する。
- ・自然に親しみ、様々なことを感じ心を動かす。

思いやりのある子ども

- ・友達や周りの人の思いに気づく。
- ・身近な動植物に親しみ、命の大切さに気づく。

(2) 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

別紙詳細

(3) その他

別紙詳細

3.財務の概要

(1)決算の概要

①貸借対照表関係

ア)貸借対照表の状況と経年比較

(単位 百万円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
固定資産	10,998	11,478	12,170	12,094	12,151
流動資産	2,682	2,239	2,214	2,601	2,569
資産の部合計	13,680	13,717	14,384	14,695	15,782
固定負債	1,216	1,111	1,642	1,530	1,431
流動負債	836	925	845	1,046	1,029
負債の部合計	2,052	2,037	2,488	2,577	3,522
基本金	15,079	15,849	16,288	16,632	17,003
繰越収支差額	△ 3,451	△ 4,169	△ 4,391	△ 4,514	△ 4,743
純資産の部合計	11,627	11,680	11,897	12,118	12,260
負債及び純資産の部合計	13,680	13,717	14,384	14,695	15,782

イ)財務比率の経年比較

(比率単位:%)

比率	算式	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産}-\text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	79.4	69.5	55.0	59.1	57.3
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	320.8	241.9	262.0	248.6	249.7
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	15.0	14.8	17.3	17.5	16.7
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	495.3	358.0	364.4	397.6	453.4
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	98.4	99.3	96.7	97.5	98.5
積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	57.3	48.6	46.8	49.0	47.3
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	63.0	64.1	60.9	61.3	61.1
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	26.7	24.4	24.0	24.7	26.8
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	9.4	9.5	9.3	8.0	8.8
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	0.7	1.7	6.4	6.1	3.8
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	73.7	72.7	75.4	71.6	74.0
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	0.5	1.6	5.5	5.5	3.0
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	14.6	9.9	13.5	15.6	11.6

②資金収支計算書関係

ア)資金収支計算書の状況と経年比較

(百万円)

収入の部	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
学生生徒等納付金収入	2,347	2,315	2,531	2,608	2,767
手数料収入	38	47	47	46	44
寄付金収入	54	19	26	22	25
補助金収入	648	692	712	760	721
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	15	17	15	55	33
受取利息・配当金収入	5	5	6	5	2
雑収入	80	88	50	152	171
借入金等収入	0	0	600	0	0
前受金収入	523	595	577	601	510
その他の収入	248	179	216	454	446
資金収入調整勘定	△ 612	△ 605	△ 682	△ 766	△ 826
前年度繰越支払資金	2,657	2,592	2,133	2,105	2,391
収入の部合計	6,003	5,945	6,231	6,041	6,284

支出の部	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
人件費支出	2,001	2,040	2,040	2,237	2,284
教育研究経費支出	560	501	535	570	658
管理経費支出	271	275	282	267	304
借入金等利息支出	8	8	8	8	8
借入金等返済支出	110	110	115	68	101
施設関係支出	160	654	585	97	115
設備関係支出	43	91	364	137	217
資産運用支出	90	40	40	244	190
その他の支出	273	221	237	211	352
資金支出調整勘定	△ 105	△ 128	△ 80	△ 189	△ 257
翌年度繰越支払資金	2,592	2,133	2,105	2,391	2,313
支出の部合計	6,003	5,945	6,231	6,042	6,284

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位 千円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,179,009	3,178,491	3,352,384	3,631,997	3,736,987
教育活動資金支出計	2,831,586	2,816,220	2,856,874	3,073,881	3,245,817
差引	347,422	326,271	495,510	558,116	491,171
調整勘定等	△ 31,375	66,271	△ 35,499	△ 9,548	△ 58,451
教育活動資金収支差額	316,048	428,542	460,011	567,664	432,720
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	3,352	260	29,031	10,508	74,166
施設整備等活動資金支出計	243,279	784,893	988,758	274,028	421,638
差引	△ 239,927	△ 784,633	△ 959,727	△ 263,520	△ 347,472
調整勘定等	30,774	15,834	△ 34,117	13,765	△ 18,379
施設整備等活動資金収支差額	△ 209,154	△ 768,800	△ 993,844	△ 249,755	△ 365,851
小計 (教育活動資金収支差額+ 施設整備等活動資金収支差額)	106,894	△ 340,258	△ 533,832	317,909	66,869
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	131,144	121,566	741,847	376,662	213,103
その他の活動資金支出計	304,170	240,949	234,905	411,724	357,665
差引	△ 173,025	△ 119,383	506,943	△ 35,061	△ 144,561
調整勘定等	583	272	△ 416	3,141	△ 708
その他の活動資金収支差額	△ 172,443	△ 119,111	506,527	△ 31,921	△ 145,269
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)	△ 65,549	△ 459,369	△ 27,305	285,989	△ 78,400
前年度繰越支払資金	2,657,441	2,591,893	2,132,524	2,105,218	2,391,207
翌年度繰越支払資金	2,591,893	2,132,524	2,105,218	2,391,207	2,312,807

③事業活動収支計算書関係

ア)事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位 百万円)

科目		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	2,347	2,315	2,531	2,608	2,767
	手数料	38	47	47	46	44
	寄付金	54	19	26	22	25
	経常費等補助金	645	692	683	750	697
	付随事業収入	15	17	15	55	33
	雑収入	80	88	50	152	171
	教育活動収入計	3,179	3,179	3,353	3,632	3,737
	事業活動支出の部					
	人件費支出	2,006	2,042	2,044	2,231	2,286
	教育研究経費支出	851	777	805	900	1,002
	管理経費支出	299	303	311	293	328
	徴収不能額等	3	2	4	3	1
	教育活動支出計	3,159	3,124	3,164	3,426	3,618
教育活動収支差額	20	54	188	206	119	
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	4	5	5	4	2
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	4	5	5	4	2
	事業活動外支出の部					
	借入金等利息	8	8	8	8	8
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	8	8	8	8	8
教育活動外収支差額	△ 3	△ 3	△ 3	△ 4	△ 6	
経常収支差額		17	51	185	201	113
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	0	0	1	0
	その他の特別収入	6	4	33	21	29
	特別収入計	7	4	33	21	30
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	1	2	1	1	1
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出計	1	2	1	1	1
特別収支差額	6	2	32	20	29	
基本金組入前当年度収支差額		22	53	217	222	142
基本金組入額合計		△ 182	△ 770	△ 439	△ 345	△ 370
当年度収支差額		△ 159	△ 717	△ 222	△ 123	△ 229
前年度繰越収支差額		△ 3,292	△ 3,451	△ 4,169	△ 4,391	△ 4,514
翌年度繰越収支差額		△ 3,451	△ 4,169	△ 4,391	△ 4,514	△ 4,743
(参考)						
事業活動収入計		3,190	3,187	3,391	3,657	3,769
事業活動支出計		3,168	3,135	3,174	3,435	3,627

(2) その他

① 有価証券の状況

(単位：千円)

種類	当年度(令和5年3月31日)		
	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
債権	503,250	493,834	-9,416
株式		0	0
投資信託	0	0	0
貸付信託	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	503,250	493,834	-9,416
時価のない有価証券	2,300		
有価証券合計	505,550		

② 借入金の状況

(単位：千円)

借入先	期末残高
日本私立学校振興・共済事業団	955,400
兵庫県私学振興協会	55,600

③ 学校債の状況

なし

④ 寄付金の状況

(単位：千円)

科目	収入額
特別寄付金	23,855
一般寄付金	1,180

⑤ 補助金の状況

(単位：千円)

科目	収入額
国庫補助金	336,737
地方公共団体補助金	384,176
その他	50

⑥ 収益事業の状況

私立学校法に定める収益事業は、該当ありません。

⑦ 関連当事者等との取引の状況

なし

⑧ 学校法人間の財務取引

なし

(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

別紙詳細